

2019 世界ジュニアボディビル・フィットネス選手権

コーチレポート

コーチ 涌島 剛智三

2020年2月27日

BUDAPEST

**IFBB JUNIOR
TESTÉPÍTŐ
ÉS FITNESS
VILÁG-
BAJNOKSÁG
& FIT MODEL
VILÁGKUPA**

**2019.
NOVEMBER
22-24.** BUDAPEST
TESTNEVELÉ
EGYETEM

Frauenberger Panni

Varga Ildikó

Keszei Korina

Ágoston Dorottya

プロローグ

11月22日～25日までハンガリーの首都ブダペスト市に於いて世界ジュニアボディビル・フィットネス選手権&フィットモデルワールドカップが開催された。

今大会では監督として日本ボディビル・フィットネス連盟選手強化委員会委員、朝生照雄氏に、コーチには私が任命され、ジュニアの4選手と帯同することになった。15年間で世界大会を5回実施しているハンガリーは7か国に囲まれており、利便性の良さから東ヨーロッパにおいては何度も開催された。

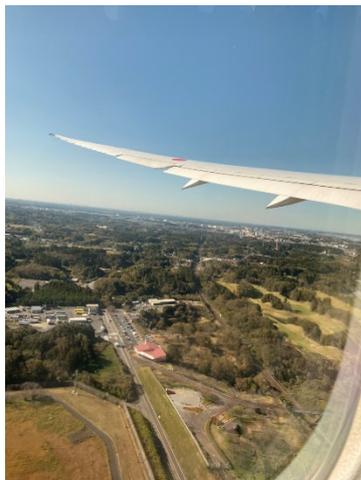
11月21日（木）

4人の若き戦士

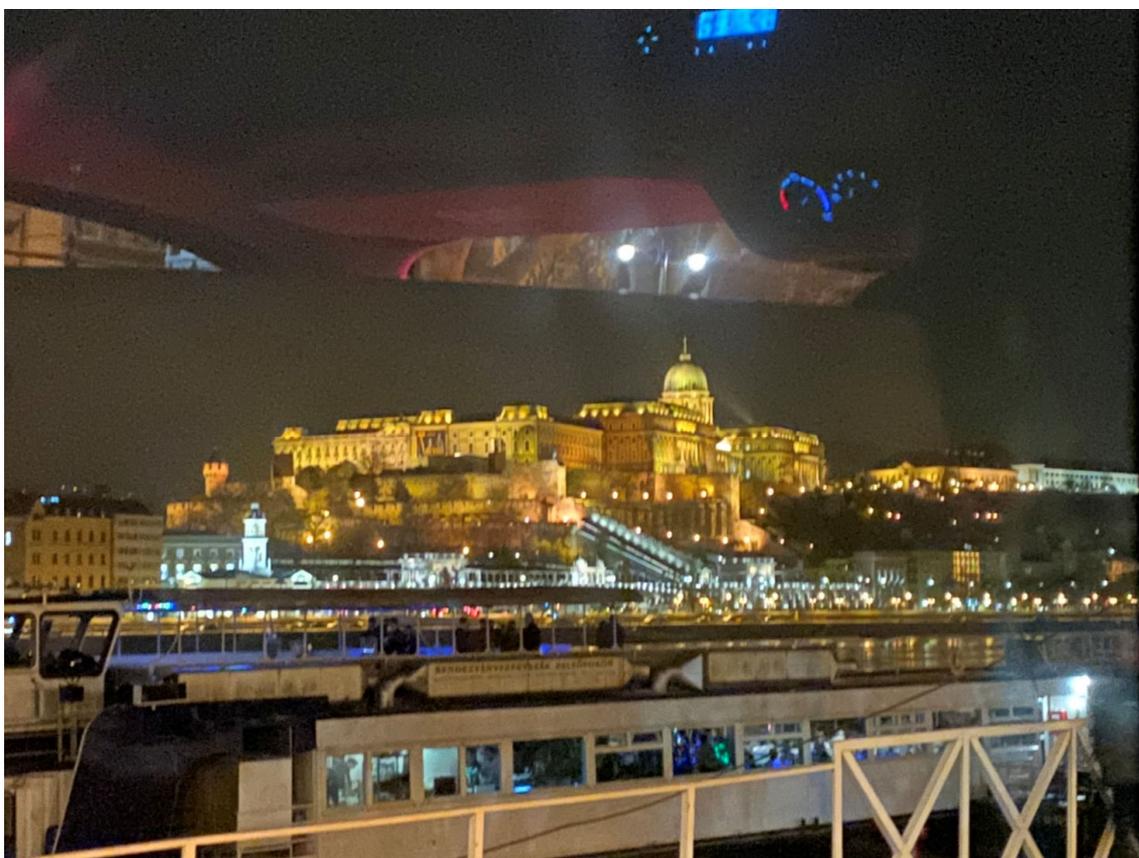


昨日は成田空港近くのホテルに前泊し、集合時間の30分前、8時30分に第一ターミナル南ウイングANAカウンター前に着いた。それから1時間ほどで朝生監督、ボディビル出場の全日本ジュニアチャンピオン五味原 嶺、同大会3位の角本 惇選手、メンズフィジークのオールジャパン 172 cm超級優勝の穴見一佐、同 172 cm以下級優勝の佐村直樹選手が集合し、チェックインを済ませる。ベルギー・ブルユッセル空港行きの搭乗口付近で出発時間まで自由時間となる。私と監督は日程の打ち合わせと選手の出場カテゴリーの確認を行う。

ブリュッセル空港行きの全日空機は定刻の 11 時に離陸。12 時間のフライトの後、ブリュッセル空港に到着。次のブダペスト空港行きのフライトまで免税店で各々、ショッピングを楽しんだ。20 時 40 分発のブリュッセル航空機は 2 時間後 22 時 35 分にブダペスト国際空港に無事到着。



迎えに来ていた現地ガイド、エマさんが運転するワゴン車でホテルに着いたのが現地時間 23 時 30 分。成田からの長旅ですっかり疲弊したチームジャパンはチェックインを済ませ早々にベッドに附く。



11月22日（金）

選手受付・ウェイインとハプニング



昨晚、日付が変わろうとした 23 時半にチェックインし、就寝したのが深夜 2 時ごろ。

朝食を取るため 7 時半ごろに起床。朝生監督と朝食を早々に済ませ、公式選手登録のために選手受付ルームで待機。監督と私は 10 時開始 30 分前から待っていたため 4 番目の受付となりそうだ。4 番目に呼ばれ、午前中に選手たちのウェイインが済めば午後からは

自由時間となり、明日からの大会に向けて休養することができるはずだ。

ところが受付が始まり、登録をしようとしたところまさかのハプニング。

受付係から全員分の前泊代 720 ユーロを支払ってからの登録と言われ、ユーロを持ち合わせていなかった私たちは慌てて街の両替所まで行く羽目になってしまった。歩いて 15 分ほどの所に銀行があったが両替はできないという。街の人に聞きながら何とか両替所に行くことが出来た。ハンガリーで両替するときは日本でいう宝くじ販売所の様な所で両替する。結局、正式に受付が終わったのが 4 時間後の午後 2 時半ころとなった。

選手たちには迷惑をかけてしまい申し訳ない思いだった。選手たちの計測が終わったのが5時を過ぎた。18時からの会議ではサントンファ会長のあいさつで始まり、パウエル審査委員長による審査における注意事項を述べて会議は終了。





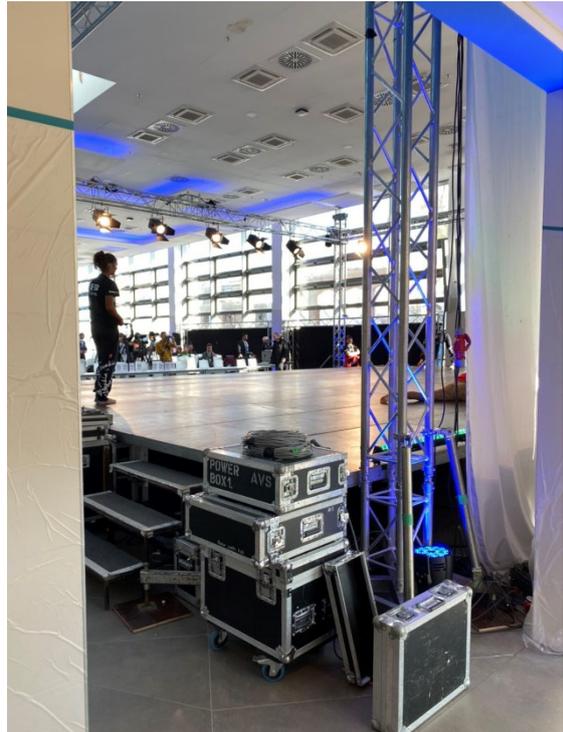
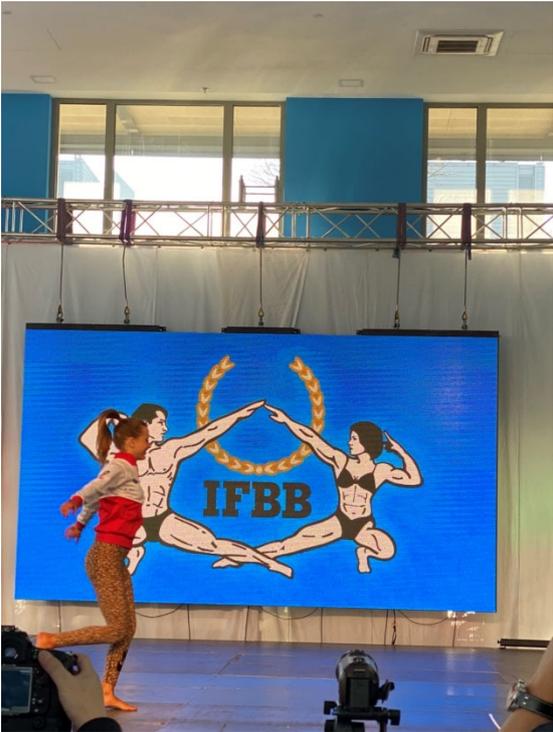
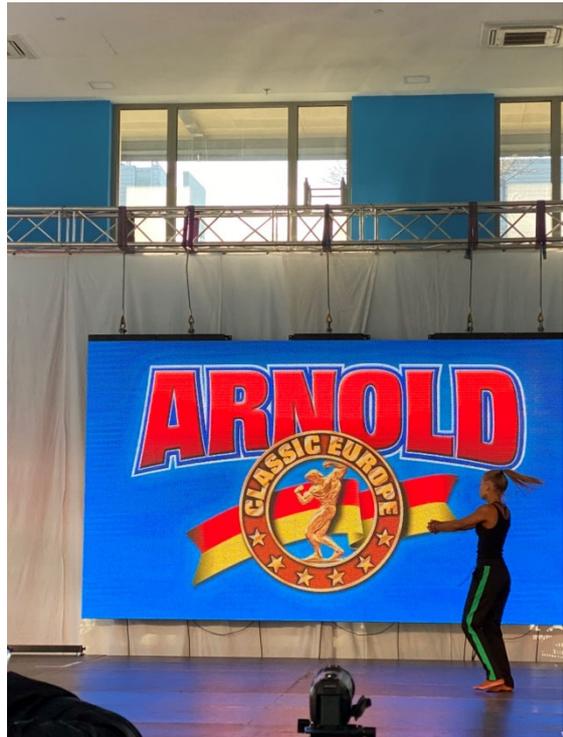
19時から全員で夕食を取り、一旦部屋に戻る。21時から監督の部屋で、選手たちのポージングチェックを行う。元ミスター日本の朝生監督の的確なアドバイスで大会での結果が期待できそうだ。

11月23日(土)

ジュニア大会初日



大会会場はホテルからバスで20分ほどのところにあるブダペスト体育大学講堂である。ジュニアジャパンの4名は初日の出番はなく、私と監督は朝一番のシャトルバスで9時に会場入り。すでに会場では大学講堂特設ステージでこの日出場する16～20歳以下級の男女フィットネスの選手たちがステージの感触を確かめていた。



後で会場に到着した選手の4人はステージの様子やバックステージ、選手控室を確認。

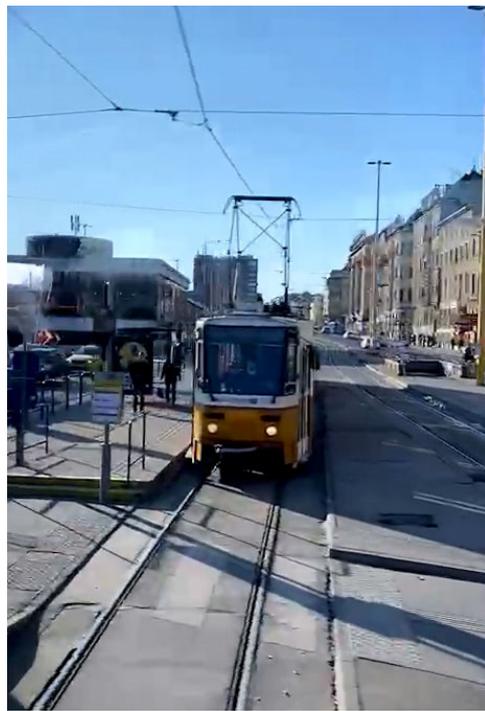
10時過ぎには競技がスタート。16～20歳以下級の女子フィットネスから始まった。





初日だけで、14 カテゴリーが行われる。私も初日から審査をすることになっており、新競技のミスフィットモデルも審査することになり正直、不安と戸惑いがないわけでないが、しっかりと厳正に審査した。フィットモデルはワンピース審査とスリットの入ったイブニングドレスでの審査で行い、ワンピース審査では露出部分（筋肉部分）が多いため審査しやすいがイブニングドレス審査ではドレスで隠れた部分が多く少し難しい。ただ、今までも新しいカテゴリーが出来ては慣れない審査に戸惑いがあったが経験とともに解消されてきた。

ジュニアジャパンの選手たちは明日の本番に備え早々とホテルに戻り、私たちも 6 時に
終了後、ホテルに戻り、夕食後、明日の打ち合わせを済ませ就寝した。

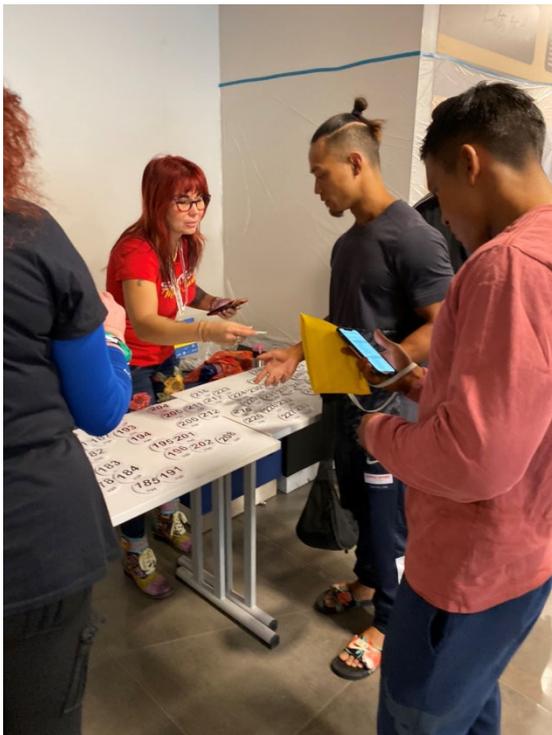


11月24日(日)

いよいよ日本ジュニアチーム出陣！そして金メダル！

いよいよ今日はチームジャパンの出陣だ！





10:00 - 18:00 - ONE CONTINUOUS SESSION - Physical Education University		
20:00 - 22:00 - FAREWELL BANQUET - Danubius Hotel		
1. Junior Women's Bikini-Fitness 21-23 Years, up to 166 cm	Elimination	
2. Junior Women's Bikini-Fitness 21-23 Years, over 166 cm	Elimination	
3. Junior Women's Bikini-Fitness 21-23 Years, up to 160 cm	Semifinal	Round 1
4. Junior Men's Classic Bodybuilding 21-23 Years, Open	Semifinal	Round 1
5. Junior Women's Bikini-Fitness 21-23 Years, up to 166 cm	Semifinal	Round 1
6. Junior Women's Bikini-Fitness 21-23 Years, over 166 cm	Semifinal	Round 1
7. Junior Women's Bikini-Fitness 21-23 Years, up to 160 cm	Final	Round 2
8. Junior Men's Games Classic Bodybuilding 16-23 Years, Open	Final	Round 2
9. Junior Men's Games Classic Bodybuilding 16-23 Years, Open	Final	Round 3
10. Junior Women's Bikini-Fitness 21-23 Years, up to 166 cm	Final	Round 2
11. Junior Men's Classic Bodybuilding 21-23 Years, Open	Final	Round 2
12. Junior Men's Classic Bodybuilding 21-23 Years, Open	Final	Round 3
13. Junior Women's Bikini-Fitness 21-23 Years, over 166 cm	Final	Round 2
VICTORY CEREMONY		
- Junior Women's Bikini-Fitness 21-23 Years, up to 160 cm		
- Junior Women's Bikini-Fitness 21-23 Years, over 166 cm		
- Junior Women's Bikini-Fitness 21-23 Years, over 166 cm		
- Junior Men's Classic Bodybuilding 21-23 Years		
- Junior Men's Games Classic Bodybuilding 16-23 Years		
Junior Women's Bikini-Fitness OVERALL + VICTORY CEREMONY		
Junior Men's Classic Bodybuilding OVERALL + VICTORY CEREMONY		
Junior Women's Bodyfitness OVERALL + VICTORY CEREMONY		
OPENING CEREMONY		
14. Junior Women's Fitness 16-20 yrs up to 163 cm	Finals	Round 3
15. Junior Women's Fitness 16-20 yrs over 163 cm	Finals	Round 3
16. Junior Men's Fitness 16-23 Years, Open	Final	Round 3
17. Junior Women's Fitness 21-23 Years, Open	Final	Round 3
18. Junior Men's Bodybuilding 16-23 Years, up to 75 kg	Semifinal	Round 1
19. Junior Men's Bodybuilding 16-23 Years, over 75 kg	Semifinal	Round 1
20. Junior Women's Fitness 16-20 yrs up to 163 cm	Finals	Round 4
21. Junior Women's Fitness 16-20 yrs over 163 cm	Finals	Round 4
22. Junior Men's Bodybuilding 16-23 Years, up to 75 kg	Final	Round 2
23. Junior Men's Bodybuilding 16-23 Years, up to 75 kg	Final	Round 3
24. Junior Women's Fitness 21-23 Years, Open	Final	Round 4
25. Junior Men's Fitness 16-23 Years, Open	Final	Round 4
26. Junior Men's Bodybuilding 16-23 Years, over 75 kg	Final	Round 2

すでに会場入りしていた4人は控室で横になっていた。

まず、最初にボディビル部門の五味原選手と角本選手が2番目のカテゴリーに出場する。

やはり、横になってくつろいでいても緊張感が伝わる。間もなく始まる戦いに集中している。ところが、ここでカテゴリーの順番が18番目に変更。2人は遅れた出番まで集中力をキープするのが大変だった様子。結局2時間遅れでジュニア男子ボディビル75キロ以下級がスタート。75キロ以下級には10名がエントリー。五味原選手は仕上がりに甘さを残し9位に。全日本ジュニア優勝時より調整が上手くいかなかったようだ。

角本選手は全日本時のままピークを維持し8位になったが筋量不足が否めない。

今日は後半、審査をすることになっており、メンズフィジークに出場する穴見、佐村選手。174 cm以下級には佐村選手が出場。好調の佐村選手はラインナップの時点で決勝に残れそうだ。佐村選手は深みのある形の整った6パックと大きく張り出した肩が特徴だ。結果、13人中6位に入賞した。次は穴見選手の出場だ。審査をしている私も緊張している。178 cm以下級には11名がエントリー。オールジャパンジュニアチャンピオンの穴見選手は大きく張り出した三角筋と細いウエストから広がるVシェイプが持ち味だ。ラインナップ時点でベスト3に入りそうだ。決勝ラウンドでは余裕すら見えてきた。ポージングごと自信があふれている。私は臍履なしで1位を付けさせてもらった。順位発表が進むごと表情から気合が入っているのがわかる。残り2人に残った時はどっちに転ぶか分からない。私は信じていたが・・・そして2位のアナウンス。外国選手が呼ばれ残った穴見選手が優勝した。初出場で世界チャンピオン誕生！！満面の笑顔でもろ手を挙げて喜んでいる。私に向かってピースをした穴見選手。最高のステージで最高の瞬間に出会えて私も感極まって涙が出てきた。













11月25日（月）

さよならハンガリー

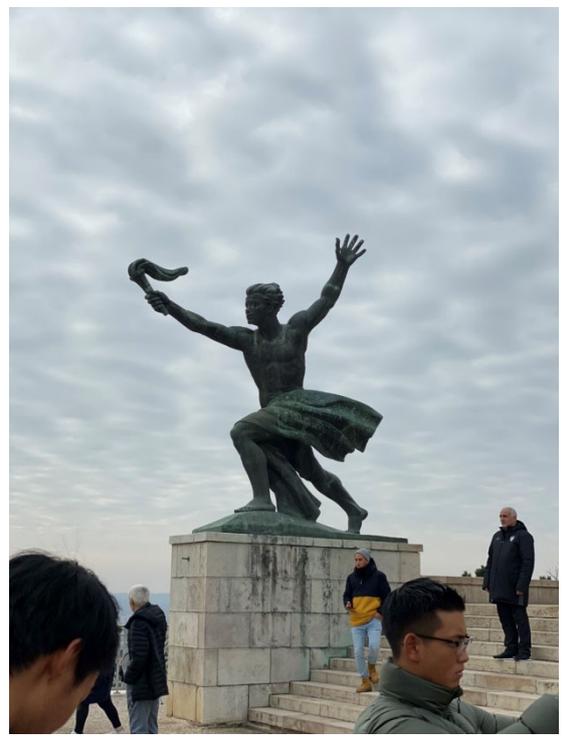


昨日の穴見選手の優勝の興奮から冷めやらぬまま、ハンガリーを離れる日を迎えた。

滅多に訪れることのない東欧のハンガリーを去ることはさみしい思いだが、飛行機の出

発時間までエバさんのガイドでブダペストの市内名所観光をする。30年ほど前は共産

圏に属していたハンガリーはところどころに当時の面影を残している。













2017年男子世界大会（スペイン）、2018年マスターズ世界大会（スペイン）では日本チームと帯同したが観光する時間が無くスペインを後にした。今回、2019年ジュニア世界大会では日本選手の好成績も合わせ、半日の観光時間を設けることが出来、思い出深い大会となった。

エピローグ



今回で3度目となる日本チームとの帯同。

毎回カテゴリーの違う日本チーム選手と帯同することは、その都度、特色のある選手たちと共にすることが出来、一生の思い出になっている。

今回のジュニア世界大会では日本選手のメンズフィジークのレベルの高さが伺えた。

ただ、今後、世界のボディビルと女子フィットネスのレベルの高さにどう近づけていくか大きな課題を感じた。

国別対抗結果 33 国参加 トルコ 1 位、チェコ 2 位 、ポーランド 3 位、日本 18 位

出場選手結果

五味原 嶺 (東京) jr. 男子ボディビル 75 キロ以下級 9 位

角本 惇 (千葉) jr. 男子ボディビル 75 キロ以下級 8 位

佐村 直樹 (東京) jr. メンズフィジーク 174 cm 以下級 6 位

穴見 一佐 (福岡) jr. メンズフィジーク 178 cm 以下級 優勝

団長兼監督 朝生 照雄 J B B F 選手強化委員会委員

コーチ 涌島 剛智三 北海道連盟理事長

